

# 例会報告

第2281回例会報告議事録  
日時 25年2月26日(火曜日)  
場所 ホテル マークワン 我孫子  
時間 12:15点鐘

ロータリーソング「奉仕の理想」  
ゲスト: 第2790地区  
ロータリー米山記念奨学生委員会委員  
織田信幸様(松戸ロータリークラブ)  
ヤン・ジンシンさん(米山奨学生)

## 会長挨拶

丸田会長



先週のIMでは上村晃一会員に非常に良いお話しをしていただきました。本当にありがとうございました。卓話の中の、ソニーのトイレの落書きが社長や工場長がいくら言ってもなくならなかったのが、トイレの清掃をしているおばさんが「ここは私の神聖な仕事場です」と書いたらなくなったという話は、リーダーシップはどこにでも有る訳で、上からのトップダウンではないということが解り大変参考になりました。

IMの翌日、行田市にある、ものづくり大学の総会に出て参りました。インターンシップを昨年受け入れた会社の人達のお話がありました。中でもフィンランドという国は建築関係の大学は卒業するのに10年かかるそうで、その内インターンシップの期間が6年有り、社会に出て即戦力になるそうです。ものづくり大学の学部は、製造学部と建築学部の2つですが、インターンシップができる場所を探していますので、もしよかったらインターネットで、ものづくり大学をご覧になりご協力ください。体験発表の学生がKYと言っていました、危険予知のことだそうです。

## 親睦委員会報告

塩毛委員長



高をくくっていましたら、3月13日(水)も21日(水)も我孫子ゴルフクラブが予約で一杯でキャンセル待ち状態です。会場も日にちもどちらになるか未定ですが、なるべく早く設定してご連絡致します。不手際がございまして申し訳ございませんが、どうぞよろしくお願い致します。

## 出席報告

星野会員代理

17名出席(全員で25名) 出席率68%

## 国際奉仕委員会報告

丸田会長代理

地区の方から国際奉仕委員会のアンケートの集計報告が来ています。  
高島委員長にお渡ししておきます。

## 幹事報告

松本幹事



- ・豊原RC前会長がご逝去されました。
- ・例会変更のお知らせ  
柏西RC 3月29日(金) 移動例会 東日本大震災被災地(飯岡) 視察
- ・3月のロータリーレート 1ドル=92円



今日は麗澤大の米山奨学生のヤン・ジンシンさんが卓話をしてくださいませ。その後、松戸RCの織田様が豆辞典についてお話ししてくださいませ。

## 卓話

米山奨学生 ヤン・ジンシンさん



今日は、皆さまに少しでも感謝の気持ちを伝えられたらいいなと思い卓話を準備致しました。卓話をする貴重な時間をいただけて光栄に思っております。たどたどしい日本語でわかりづらいと思いますが、何卒よろしくお願い致します。

私は韓国のテジョンという田舎で5人兄弟の末っ子として生まれました。ソウルと釜山の真ん中あたりにある田んぼだらけの田舎です。今年で32才です。昨年12月30日に結婚しました。日本語教育を専攻しています。

留学したきっかけですが、韓国の大学で観光経営で英語の勉強をしていて、心身共に疲れていた時、日本語の授業を聞く機会がありました。日本のお年寄りの方が本当に親切に面白く日本語を教えてくださいました。それがきっかけで日本語そのものに引かれ、もっと勉強しようかなと思い、26才の時に日本への留学を決めました。2004年から留學生活が始まりました。留学に反対していた親には絶対に手は借りないと、一日二つのバイトをしながら、大学院に進みました。文部省からの奨学金をいただき、大変助かりました。修士2年になって米山奨学生に選ばれ、やっと勉強に専念できるようになりました。米山奨学金をいただき、いろんな所にも行き、いろんな人と話し、交流しました。様々な土地に行き、その土地の人々の暖かさに触れる事もできました。米山奨学金が皆さまの寄付金であるということは、言葉では言い表せない程、胸が熱く感じるばかりでした。米山奨学生になって、自分の人生で最高の勉強になりました。かけがえのない思い出にもなりました。皆さんのおかげで人生観も変わりました。人のためになる人間になろうと思い始めました。今の勉強をがんばって、日本と韓国がよりよい友達になれるように役に立てる事ができるように頑張ります。日本語が好きで、日本に来る事になりました。今は日本が好きで全てが好きになりました。日本に来る前は、日本には建前と本音がはっきりしているという固定観念がありましたが、日本で生活していると暖かい人がいっぱいいらっしゃいました。人というのは、日本でも韓国でも同じです。ご清聴ありがとうございました。

## 米山事業について

ロータリー米山記念奨学会委員会委員 織田信幸様



地区の方で米山の委員をしております。本日は貴重なお時間を拝借して米山事業を説明できる事を感謝申し上げます。

日本のロータリークラブが戦後、国際ロータリー(RI)に復帰したのは1949年でした。東京ロータリークラブが後世に残るような事業を立ち上げたいということで1952年に米山奨学基金は始まりました。その5年後に財団法人化を目指して委員会が立ち上がり、現在に至っています。米山事業は、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために国際親善と世界平和に寄与したいという当時のロータリアンの熱い強い思いがこもっています。

昨年12月に松戸にて地区大会が行われ、二日目に台湾から頼明珠(ライ・ミンチュウ)さんがホームカミング制度を利用して来日し、壇上でスピーチをくださいました。彼女は村上春樹氏の作品を中心とした翻訳家としてかなり有名な方です。30年前に松戸クラブがお世話をした千葉大園芸学部の奨学生でした。自分の人生の最大の転機は日本に留学したこと、今日の自分があるのはロータリークラブとロータリアンのおかげだとおっしゃっていました。ほとんど毎週世話クラブの例会に出てスピーチをしたそうです。例会前にロータリアンの職場に行き、原稿をチェックしてもらったり、日本の歴史や美術についての本をもらったりしたそうです。農業の流通を勉強したのに日本の文学が忘れられずに翻訳家になったそうです。このようにして支援を受けて巣立った奨学生は、現在1万7千余名、121の国と地域に及んでいます。今までに集まった寄付金は500億円に上るそうです。カウンセラーという人的支援はこの価値の数倍以上の価値を生んでいるのではないかと思います。世話クラブカウンセラー制度は他の奨学事業には類を見ない民間最大の事業ではないかと思います。

(次ページへ続く)

韓国の元奨学生が日本の大使に戻って来たそうです。台湾、韓国に次いで、2009年に北京と上海が合体して中国の学友会が創立されました。去年はタイにもできました。中国の学友会の初代会長さんは毎年50万円米山に寄付して下さいます。東日本大震災の際、台湾は約160億円の義援金を送ってくれました。台湾で流通の父と言われる方が米山の元奨学生で、震災の時にセブンイレブンの各店舗で募金を募り、約3億円義援金を送ってくれました。米山事業は日本が最も誇れる事業だと思います。

米山の財政状況です。奨学生は今年800名おります。当地区では26名の奨学生の方をお世話しています。2011年に奨学金として支給されたお金は14億400万円に上りますが、皆さんから頂いた寄付金は普通寄付、特別寄付を合わせて12億950万円でした。米山の寄付金はほとんど奨学生のために使われています。特別基金が50億円、特別積立金が42億円にありましたが、マイナス分を補うことで目減りしており、今年度から奨学生の数を700名に減らしました。

今年、恐らく中央学院大の学生さんを我孫子さんの方でお世話していただくことになると思います。ぜひとも米山の意義を感じ取っていただき、普通寄付以外に特別寄付もしていただければと思います。ありがとうございます。

## ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
井上会員	先週、上村会員にお迎え頂いたのにIMに欠席しましたので。	1,000円
丸田会長	ロータリー米山奨学委員会織田様においで頂いています。	1,000円
米田会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
当日計		3,000円
今期累計		290,088円

ロータリーの友 事務局 ホームページ [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)  
メールは [web@rotary-no-tomo.jp](mailto:web@rotary-no-tomo.jp)

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村力コンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。